

婦人防火クラブによる災害時を想定した炊き出し訓練

姫路市姫路東消防署

秋季全国火災予防運動の一環として、姫路東婦人防火クラブ連合会では11月12日に炊き出し訓練を実施しました。

16校区総勢90名が参加し、大規模災害発生後の避難所における給水や食事配給を想定した炊き出し訓練を地域の婦人防火クラブ員が有機的に連携して実施し、地域住民の防火防災意識の高揚を図りました。また、実災害を想定し実際の給水車を使用して給水・食材・調理具に制限を設け、限りある資機材を有効に利用できるか訓練しました。



児童防火ポスターで火災予防！

奈良県広域消防組合高田消防署

当消防署では、防火意識の高揚を図ることを目的に管内の小学校4年生を対象として防火ポスターを募集したところ、188点の応募があり、審査の結果、最優秀賞をはじめ各賞が決定しました。すべての応募作品は秋季火災予防運動週間中、高田消防署管内の一般市民に広く公開できる場所へ展示し、火災予防啓発を行いました。



消防通信 望楼 ぼうろう

大規模地震災害時に備え遠距離中継送水訓練を実施

相模原市消防局

相模原市北消防署（小川智久署長）は、消防団北方面隊（中里稔方面隊長）及び女性分団（愛称・あじさい隊、壽崎祐子分団長）と合同で、9月28日（日）大規模地震災害が発生し消火栓が使用不能となった場合を想定し、消防車両15台70名が参加して防火水槽等を活用した総延長距離1.5キロメートルの遠距離中継送水訓練を実施し、連携体制を確認するとともに団員及び隊員の技術習得が図られた。



総合防災訓練の実施

田川地区消防本部

田川地区消防本部では、平成26年10月26日（日）地域防災力の強化及び防災意識の高揚を図るため、参加機関36団体、ヘリコプター2機、車両55台、参加人員337人の大規模な防災訓練を実施しました。緊急地震速報受信時対応行動訓練及びエリアメールを配信するという住民参加の訓練から始まり、県警の偵察ヘリや国交省の無人ヘリによる情報収集も行いました。

訓練は、風水害対策と地震災害対応を中心とし、参加機関の連携を深める訓練となりました。



消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。

ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】